

2026年度入試 説明会など開催日程 (いずれも関西大学高槻ミュージズキャンパス(本校)にて開催)

中等部

高等部

オープンスクール

7/12±

9:00~12:00

中等部

サイエンス体験

8/30±

13:30~15:30

中等部

あしのはさい
葦葉祭(文化祭)見学・個別相談

9/13± 14日

(個別相談) 11:00~13:00

中等部

学校説明会

10/4±

13:30~16:30

高等部

学校説明会

10/11±

13:30~16:30

中等部

高等部

入試説明会

11/15±

9:00~12:00

中等部

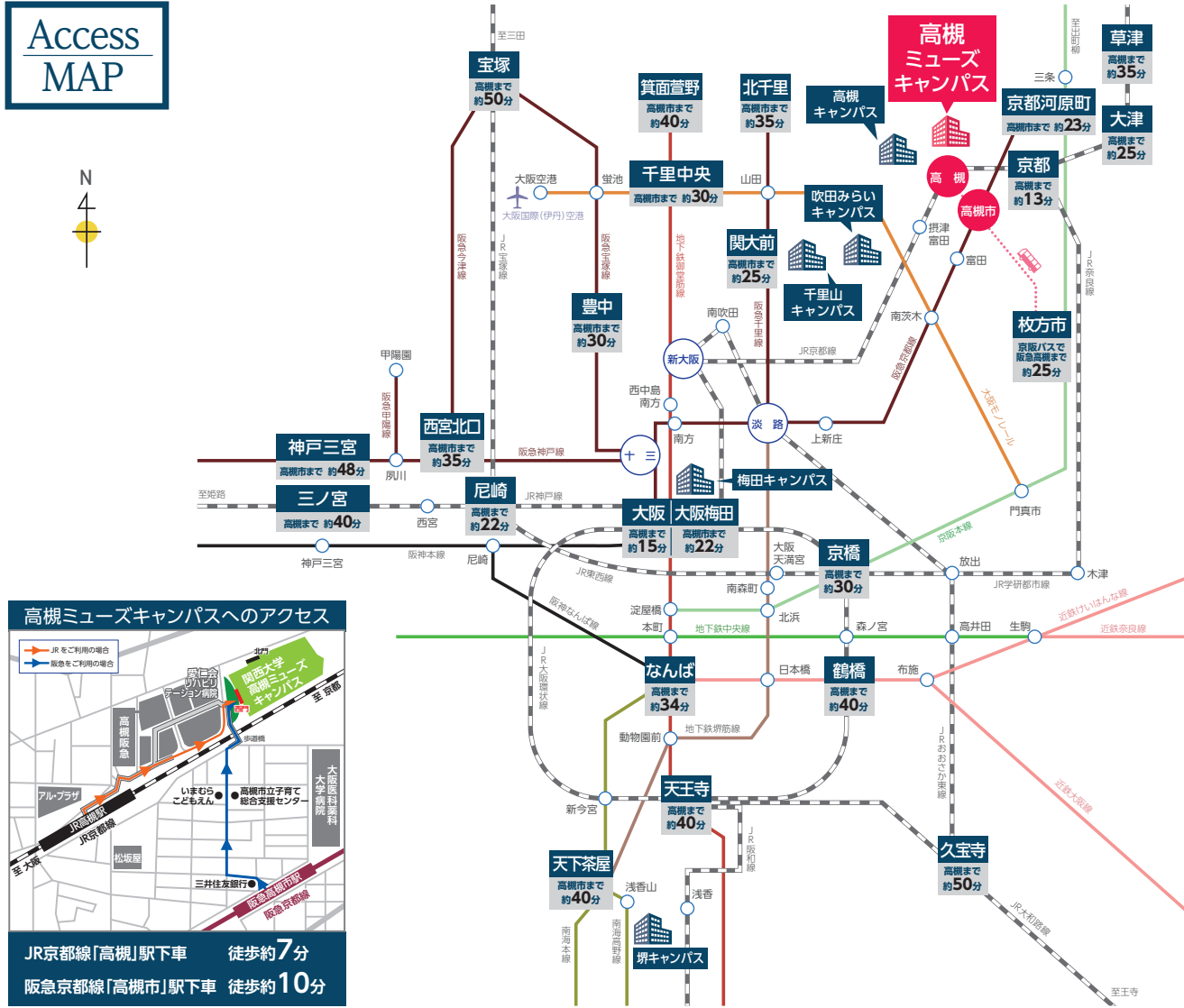
高等部

校舎見学会

第1回 6/14± 第2回 7/19±
第3回 11/29± 第4回 12/20±

いずれも 13:00~14:00

- 参加ご希望の方は、各種イベント開催日の約1カ月前から本校ホームページにてお申し込み下さい。
- 駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用下さい。



関西大学中等部

〒569-1098 大阪府高槻市白梅町7番1号
TEL 072-684-4326 FAX 072-684-4347
<https://www.kansai-u.ac.jp/junior/>



[中等部HP]

関西大学高等部

〒569-1098 大阪府高槻市白梅町7番1号
TEL 072-684-4327 FAX 072-684-4347
<https://www.kansai-u.ac.jp/senior/>



[高等部HP]



KANSAI
UNIVERSITY
JUNIOR/SENIOR
HIGH SCHOOL

関西大学中等部
関西大学高等部

SCHOOL GUIDE

2026



「学^{じっげ}の実化」の実践とたゆまぬ進化をもって よりよい社会の創造に貢献するための 「考動力」を備えたリーダーを育てる

本校は2025年、創立16年目を迎えました。創立当初から教育活動の根底にあるのは、関西大学の学是「学^{じっげ}の実化」です。その実践に向けて、自ら考え、主体的に行動して責任をもってより良い社会を築くための力「考動力」を有する人材の育成を目指しています。

関西大学の長期ビジョン「Kandai Vision 150」には、「多様性の時代を、関西大学はいかに生き抜き、先導すべきか」という問いが示されています。併設校である本校でも当然向き合うべき問いであり、その問いを起点に、本校は進化し続けていかなければなりません。その一環として2025年度より、新たな取り組みを始動させました。その中の1つは「生徒から問いを引き出すための授業デザイン」をテーマとした授業改革。これまで教員が投げかけていた問いが、生徒の中で生まれるようにファシリテートする。そんな授業づくりを進めます。もう1つは生成AIの活用。関西大学と連携して2025年度中には、本校のルーブリックに則って文章をチェックする生成AI搭載システムを、探究学習の論文執筆のプロセスに導入する予定です。

2023年度から掲げる目標「ブランド力アップ」は、すでに生徒にも浸透しています。今年度のキーワードは、TPOに応じた振る舞いをする”品格”。生徒とともに、そのさらなる向上にまい進します。

関西大学中等部・高等部校長

松村 湖生



考動する人になる。

教育理念・目的

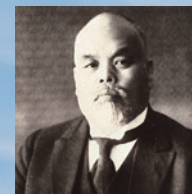
関西大学の教育理念「学^{じっげ}の実化」(学理と実際の調和、国際的精神の涵養、外国語学習の必要、体育の奨励)に基づき、教育を展開する。また、初等教育から高等教育までの一貫教育を同一キャンパス内で実践することのメリットを最大限に活用し、個人の成長段階を継続的に把握しながら、自ら考え、主体的に行動して責任をもってよりよい社会を築くための力「考動力」を有する人材を育成する。

アドミッション・ポリシー (本校が求める生徒像)

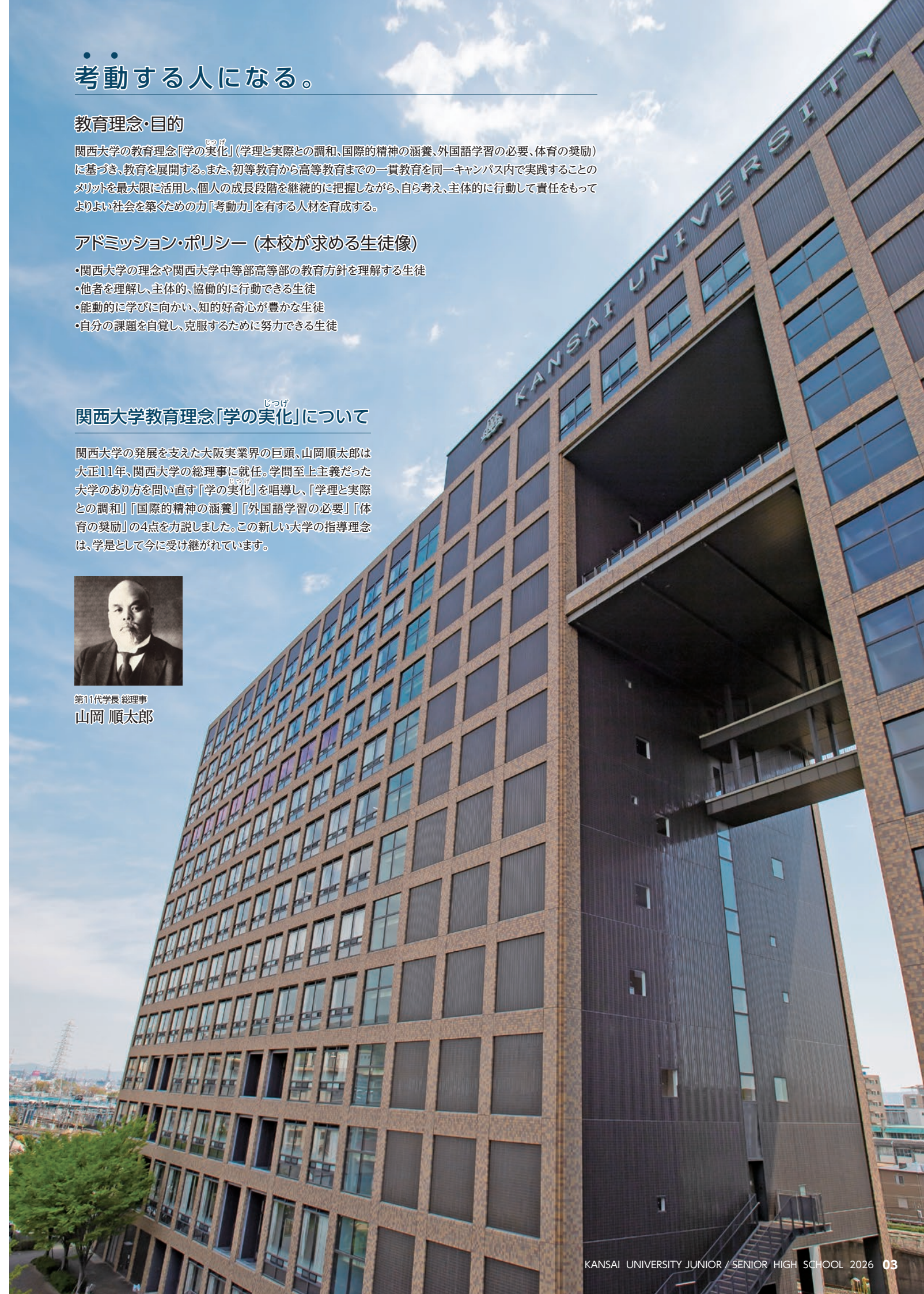
- ・関西大学の理念や関西大学中等部高等部の教育方針を理解する生徒
- ・他者を理解し、主体的、協働的に行動できる生徒
- ・能動的に学びに向かい、知的好奇心が豊かな生徒
- ・自分の課題を自覚し、克服するために努力できる生徒

関西大学教育理念「学^{じっげ}の実化」について

関西大学の発展を支えた大阪実業界の巨頭、山岡順太郎は大正11年、関西大学の総理事に就任。学問至上主義だった大学のあり方を問い直す「学^{じっげ}の実化」を唱導し、「学理と実際の調和」「国際的精神の涵養」「外国語学習の必要」「体育の奨励」の4点を力説しました。この新しい大学の指導理念は、学是として今に受け継がれています。



第11代学長 総理事
山岡 順太郎

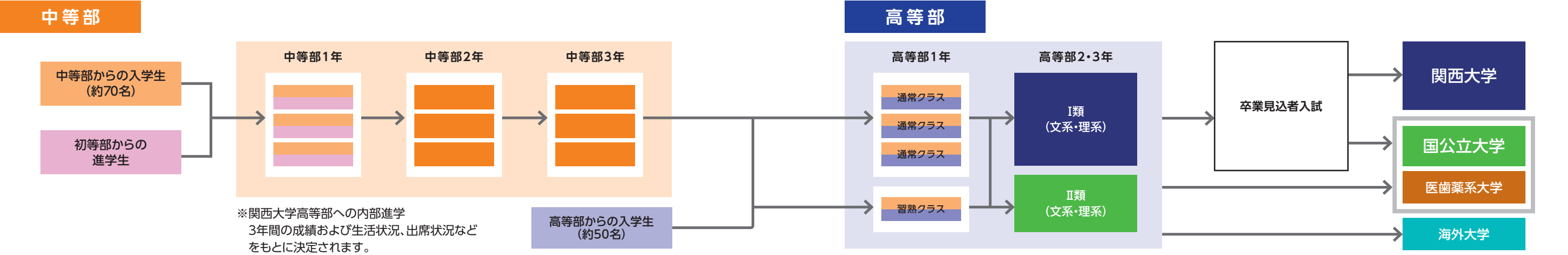


中等部・高等部のクラス編制／進学指導

多様な生徒同士が高め合えるクラス編制のもと、
 一人ひとりの可能性を伸ばし、希望進路の実現へとつなげます。

中等部・高等部のクラス編制

中等部では中等部からの入学生と初等部からの進学生、高等部では高等部からの入学生と中等部からの進学生の混合クラスを編制。互いに刺激を与え合い、ともに成長していける環境で学びます。



中等部のカリキュラム

充実の施設・設備を最大限に活用。
基礎学力をしっかりと養成し、自ら学ぶ力を伸ばします。

中等部

確かな学力の向上を図るカリキュラム

授業では、基礎的な事柄についての知識・理解を定着させるとともに、各教科の考え方や学び方なども指導します。また、単元の特性に応じて、一人ひとりの生徒から“問い”を引き出すことを目的とした双方向型授業も実践。学びに対する意欲を高めながら、身につけた知識を活用して自ら考える姿勢を育みます。

時間割例(2025年度 中等部1年の場合)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	国語α	国語β	国語α	歴史	道徳	保健体育
2	保健体育	歴史	理科β	英語表現	代数	幾何
3	幾何	英語表現	国語β	保健体育	英語教科書α	英語教科書α
4	美術	特別活動	地理	理科α	理科β	
5	代数	音楽	理科α	家庭/技術	地理	
6	英語教科書α	代数	英語教科書β	家庭/技術	国語α	
7	総合的な学習の時間					

中等部カリキュラム(2025年度入学生)〔1週あたりの時間数〕

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
第1学年																																		

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
第2学年																																		

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
第3学年																																		

サイエンス

取り組み

理科の授業では、エネルギー・物質・生命・地球の4領域に関わる観察・実験を実施。現象を目の当たりにするからこそ生まれる「なぜ?」を説明するプロセスを通して、本校が重視する自ら考え行動する力=「考動力」を発揮する上で必要なものの一つであり、課題を発見・解決する力や、課題に対して諦めない姿勢に通じる「科学的思考力」を確立します。

中等部1年での観察・実験の例

化学分野	■有機物と無機物の燃焼実験 ■ガスバーナーの使い方(検定試験) ■酸素発生の実験(水上置換法) ■二酸化炭素発生の実験(下方置換法)	■アンモニア発生と噴水の実験(上方置換法) ■水素発生の実験 ■物質(硝酸カリウム、ミョウバン、塩化ナトリウム)の溶け方の実験	■試験管で雪を降そう!(塩化アンモニウムの再結晶から) ■エタノールの状態変化の実験 ■エタノールと蒸留水の混合溶液の温度変化の実験 ■赤ワイン蒸留の実験
物理分野	■万華鏡の規則性調査 ■光の反射の法則の実験 ■凸レンズでの実像づくりの実験	■ストロー笛づくりの実験 ■音の速さの測定 ■音の拡散シミュレーション	■モノコードの実験 ■ばねののびの実験 ■面に加わる力のはたらき(圧力の実験)
生物分野	■身近な自然の観察 ■スケッチの手法 ■植物のスケッチ	■花のつくりの観察 ■光学顕微鏡の使い方(検定試験) ■葉脈標本の作製	■シダ植物の観察 ■イカの解剖と観察 ■チリメンモンスターの観察
地学分野	■P波S波体现モデル ■プレート移動モデル実験 ■断層モデルの作成 ■液状化モデルの作成	■火山の噴火モデルの作成 ■川底の砂の観察 ■火山灰の観察 ■火成岩の観察	■火成岩のでき方実験 ■岩石薄片プレパラートの観察 ■地層のボーリングシミュレーション ■たい積岩の観察



高等部のカリキュラム

5教科をバランスよく学ぶことで、国際理解教育、探究学習の素地をつくり、大学ではもちろん社会でも活用できる学力を確立します。

高等部

目標に応じた進度・深度でバランスよく学べるカリキュラム

5教科をバランスよく学ぶ教科学習、グローバルに活躍するための素養を育む国際理解教育、課題解決型の学びを展開する探究学習の融合により、自ら考え行動する「考動力」を培います。
高等部1年の時点で、ハイレベルな内容に取り組む習熟クラスを設置。早期より学力や目標に合った進度・深度で学び、人生に活きる真の学力を身につけます。

時間割例(2025年度 高等部1年の場合)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	現代の国語	歴史総合	物理基礎	体育	数学Ⅰ	物理基礎
2	英語コミュニケーションⅠ	体育	論理・表現Ⅰ	家庭基礎	現代の国語	地理総合
3	地理総合	数学Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	家庭基礎	言語文化	数学Ⅱ
4	情報Ⅰ	言語文化	歴史総合	数学Ⅰ	LHR	
5	数学Ⅱ	生物基礎	情報Ⅰ	論理・表現Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	
6	数学Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	言語文化	プロジェクト基礎	保健	
7	生物基礎			プロジェクト基礎		

高等部カリキュラム(2025年度入学生)〔1週あたりの単位数〕

第1学年																																						
第1学年	現代の 国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学 I	数学 A	物理基礎	生物基礎	体育	保健	英語コミュニケーション I	論理・表現 I	家庭基礎	情報 I	プロジェクト 基礎	HR 活動																						
	2	3	2	2	4	2	2	2	2	1	4	2	2	2	2	1																						

第2学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
Ⅰ類 文系	現代文 探究Ⅰ	総合国語 Ⅰ		国語演習 Ⅰ		地理探究		日本史探究/ 世界史探究			公共		数学Ⅱ			化学基礎		体育		保健		英語コミュニケーション Ⅱ		論理・表現 Ⅱ		プロジェクト ゼミ		HR 活動										
	2	3		2		3		3			2		4			2		2		1		4		3		2		1										

Ⅰ 預理系	国際研究Ⅰ	公共	数学Ⅱ	数学Ⅲ	物理/生物	化学基礎	化学演習	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	プロジェクトゼミ	PR活動
	2	2	5	3	4	2	3	2	1	4	3	2	1

Ⅱ類 文系	現代文 探究Ⅰ	総合国語 Ⅰ	国語演習 Ⅰ	地理探究	日本史探究/ 世界史探究	公共	数学Ⅱ	数学Ⅲ	化学基礎	体育	保健	英語コミュニケーション Ⅱ	論理・表現 Ⅱ	プロジェクト ゼミ	HR 活動
	2	2	3	3	3	2	5	2	2	2	1	4	3	2	1

Ⅱ類 理系	現代文 探究Ⅰ	総合国語 Ⅰ	地理探究	公共	数学Ⅱ	数学B	物理/生物	化学基礎	化学演習	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	プロジェクトゼミ	HR活動
	2	2	3	2	5	3	4	2	2	2	1	4	3	2	1

第3学年		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
Ⅰ類 文系	現代文 探究Ⅱ	総合国語Ⅱ		国語演習Ⅱ		地理特講/ 公民特講		日本史特講/ 世界史特講		数学B		数学C		理科演習		体育		音楽Ⅰ/ 美術Ⅰ		英語コミュニケーションⅢ		論理・表現Ⅲ		外国語探究		卒業研究		HR活動											
	2	3		2		3		4		2		2		1		3		2		4		2		2		1		1											

Ⅰ類 理系	国語探究 Ⅱ		数学 Ⅲ		数学 C		化学		物理演習/ 生物演習		体育		音楽I/ 美術I	英語コミュニケーション Ⅲ	論理・表現 Ⅲ	外国語 探究	卒業 研究	HR 活動
	2		5		2		6		4		3		2	4	2	2	1	1

Ⅱ類 文系	現代文 探究Ⅱ	総合国語 Ⅱ	国語演習 Ⅱ	地理特講/ 公民特講	日本史特講/ 世界史特講	数学 C	数学演習	理科演習	体育	音楽/ 美術Ⅰ	英語コミュニケーション Ⅲ	論理・表現 Ⅲ	卒業 研究	HR 活動
	2	3	3	3	4	2	4	2	3	2	5	2	1	1

Ⅱ類 理系	現代文 探究Ⅱ	総合国語 Ⅱ	地理特講	数学Ⅲ	数学Ⅰ	化学	物理演習/ 生物演習	体育	音楽Ⅰ/ 美術Ⅰ	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ	卒業研究	HR活動
	2	3	3	5	3	5	3	3	2	5	2	1	1

※高等部Ⅱ類 第3学年次においては、「演習」と付記していない科目においても、国公立大学への進学を目指すにあたって授業内に演習を設定することがある。

“わかる楽しさ”と“できる喜び”を体感できる授業で、
一人ひとりの学ぶ意欲を引き出します。



国語科主任
佐野 洸文

中等部

国語

「他者」を理解する力を養い、
他者はもちろん、自分自身も
大切に作る姿勢へとつなげます。

私たちは日常生活の様々な場面で「他者」と関わります。「私とはこのように存在する」と考えていても、「他者」から見た「私」は果たして自分の考えるように「存在」しているのでしょうか。複雑化した現代社会では、常に「他者」の存在が「私」の存在を脅かし、「本当の私」を見失いがちになります。中等部での国語では、「他者」を理解するための力を身につけてほしいと思います。また、現代社会の基盤となる古の人々の考え方や当時の社会、慣習も古典で学び理解を深めます。



社会科／地歴・公民科主任
中村 明信

社会

正しい知識と広い視野をもって
選択・判断するための
土台を確立。

正しい知識で行動できる人間力を育成するため、地理・歴史・公民の各分野の基礎的な知識の定着を第一に考えながら、各分野を有機的に結びつけて学習していきます。合わせて、新聞記事や統計資料に普段から親しみ、活用できるよう指導しています。そのうえで、単なる知識の習得だけに終わるのではなく、実社会で活用できる力を養うため、他教科の内容も関連づけながら横断的・総合的な学習を展開します。



数学科主任
佐藤 宏明

数学

一つひとつの問題にじっくりと
向き合うことで、解くための
“引き出し”を増やしていきます。

中等部の数学では、正確な計算力などに加えて、解答にたどり着くまでの過程がより重視されます。公式や解法を単に覚えようとするのではなく、「どうしてその解法になるのか?」という疑問を持ち、その疑問解決に取り組む姿勢が大切です。高等部へとつながる基盤を固め、自分の持っている知識の中から適切な解法パターンを導き出せるようになるために、暗記ではなく「理解すること」に重点を置いて学習をしていきます。



理科主任
福島 大樹

理科

豊富な観察・実験を通して
自ら問題を見出し
「なぜ」を追求できる人に。

中等部では、各学年とも年間40テーマほどの観察や実験を行い、正しい実験方法と考察する力を身につけます。また、自ら問題を見つけ、「なぜ」を追求する姿勢を育みます。観察や実験を通して、確かな知識を定着させるとともに、レポートがしっかりと書ける力を身につけます。また、自然の事物や現象を科学的に探究するために必要な資質、能力を育成します。



外国語科主任
石川 剛

英語

4技能を総合的に伸ばし、
国際社会で通用する
英語「考動力」を育成。

中等部での英語学習では、国際社会で求められる英語「考動力」の育成に力を入れています。英語の授業では、実際のコミュニケーションの場面を想定し、4技能を総合的に育みます。ペアやグループでの活動を通して相手の意見を正確に理解し、自分の考えを英語で明確に伝えるといった実践的な英語運用能力を育成します。そして3年次のカナダ研修では、実際に現地の方々との交流で、授業で培った英語力を活用します。

高等部

国語

自分を取り巻く他者と社会への
理解こそが、現代社会を
自分らしく生き抜く第一歩。

社会のあらゆる場面で「他者」との関わりが存在します。「私とはこのように存在する」と考えていても、「他者」から見た「私」は果たして自分の考えるような「存在」なののでしょうか。複雑化した現代社会では、常に「他者」の存在が「私」の存在を脅かし、「本当の私」を見失いがちになります。高等部での国語では、「私」を取り囲む「他者」「社会」について理解するための力を身につけてほしいと思います。現代社会の基盤となる古の人々の思想や当時の社会、慣習も古典で学び理解することで、各自が思考する際に援用する既知の事柄を増やします。

地歴・公民

課題を主体的に解決する
よりよい社会実現の
担い手となるために。

社会の主体的な形成者としての見方や考え方を育成することを学習目標としています。特に重視していることは、地理・歴史・公民の諸事象について概念などを活用して多面的・多角的に考察し、より良い社会を実現するために課題を主体的に解決する態度を養うことです。そのために、基礎的知識の習得に留まらず、論理的思考力を育むために、新聞記事や学術論文などを活用しながらスライドやレポートなどの作成・発表も行います。

数学

正確さを徹底することで
計算力、読み取る力、
解答を導き出す力を追求。

高等部の数学では、中学までの知識を前提として、より発展的な問題に対する解決力が求められます。理解しながら知識の量を増やしていくと同時に、問題に対して適切な解法を引き出せるように、知識の整理が必要です。「正確さとスピードを兼ね備えた計算力」と「問題文から条件を正確に読み取る力」「知識を正確に活用して解答を導き出す力」を身につけることを目標にして、学習していきます。

理科

科学技術を通して
地球規模の問題解決に貢献できる
人物の育成を目指します。

高等部では、1年次は生物基礎と物理基礎を、2年次は化学基礎を全員が学びます。数学的な手法や論理的な思考を用いて、自然現象への理解を深め、確かな知識を定着させるとともに、観察や実験を通して自然現象を科学的に見る目を養います。2年次より理系に進学した生徒は、化学・物理・生物の発展的な内容を学び、論理的に考察する力を身につけ、現代の地球環境に必要な科学技術を想定する力を養います。

英語

英語「考動力」の
さらなる向上に向けて、
アウトプットの場を豊富に用意。

高等部では、中等部で培った基礎をもとに英語「考動力」をさらに伸ばします。教科書の内容を自分の言葉を用いて再話したり、スピーチやプレゼンテーションを行ったりすることで、情報収集力や発信力、対話力、交渉力を育成します。2年次の海外研修旅行では、現地の学生との交流を通して、身につけた英語運用能力を実際の場面で活用します。また英語学習の集大成として「英語ディベート」に1年間取り組み、論理的に考え、英語で主張する力を高めます。

次代を担うグローバルリーダーに
求められる素養を育みます。

英語の授業では、聞く・読むの「受け取る力」、話す・書くの「表現する力」をバランスよく培います。また実践の場として、海外研修や留学プログラムを用意。「伝えたいのに、どう表現すればよいのかわからない」といった“壁”を自ら乗り越えることで、英語によるコミュニケーション能力はもちろん、自立心や主体性、広い視野といった「生きる力」を身につけます。

高等部

対象： 中等部3年全員
内容： フィールドワーク
学校交流、ホームステイ
期間： 5泊7日～6泊8日(10月)

事前学習でもカナダについてしっかり学びます。
(カナダ概論)



対象：高等部1年・2年希望者(25名)
内容：ホームステイ
語学研修
ロンドン観光
期間：約12日間(7月末～8月)

「英国人の心の故郷」と呼ばれるコッツウォルズ。海外が初めての人、英語力を試したい人におすすめです。



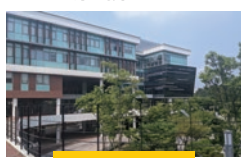
対象： 中等部2年希望者(3名)
高等部1年希望者(4名)
内容： 協定校授業体験
ホームステイ(訪問、受入)
滞在先： バディ生徒宅
期間： 約1週間
7月に受け入れ
3月に訪問

協定校とのプログラム。
パディとは
一生の友達になります。



対象： 高等部1年・2年希望者(合計10名程度)
内容： 交流校授業体験、語学学習
滞在先： 交流校付近のホテル
期間： 4泊5日程度
5月に受け入れ
12月に訪問

事前学習では
韓国語も勉強します。



カナダ研修旅行

英語の授業をはじめ、3年間の学習で身につけた力を発揮する場となる研修旅行です。現地では、生徒全員がホームステイで滞在します。また、学校交流では現地校の授業を体験したり、Japanese Culture Festivalという名前でも、現地の生徒達に日本文化の紹介を行います。ウィクトリア市内では、博物館や大学訪問を通じて、カナダの文化や歴史への理解を深めます。



ニュージーランド ターム留学

中等部3年の3学期をニュージーランドの学校で学びます。他のプログラムと違い、ターム留学生はそれぞれ別の学校で学びます。留学期間中は現地でホームステイをします。英語学習はもちろん、自主・自立、行動力など、様々な側面で大きな成長を感じられる留学制度です。



A 生徒メッセージ /

苦手意識のあった英語が、一番の得意科目に。
自分に自信を持てるようになりました

人と話すことや発表は大好きですが、英語でのコミュニケーションには苦手意識がありました。そんな自分を変えたいと思い、ニュージーランドターム留学に参加。現地の学校でたくさんの友達ができ、親友と呼べるほどの関係性にも築けたことで、自分にも英語力にも自信が持てるように。自由な雰囲気の中で学び、自分らしさを大切にしようと思えるようにもなりました。帰国後は何事にも積極的に取り組むようになり、より楽しい学校生活を送ることができています。



※参加当時、中等部3年



タイ研修旅行

首都のバンコクを訪問し、プロジェクト学習で培った、多面的なものの見方・課題遂行力などを実際に活用し、環境問題や貧困問題について深く考えます。また、世界遺産のアユタヤ遺跡訪問や、関西大学協定校バンヤピット経営大学の附属高校との学校交流を通じ、異文化コミュニケーションや自国理解力を育てます。



夏期イギリス研修

約12日間、イギリスのコッツウォルズ地方にホームステイします。語学研修や文化体験を通じて、実践的な英語力の向上と異文化理解を深めることを目的としています。研修中は、自分で設定したテーマについて現地でフィールドワークを行い、ホームステイ最終日には、集めた情報をもとに作ったスピーチをホストファミリーの前で発表します。ロンドンでは大英博物館を訪問するなど、イギリスを満喫できるプログラムになっています。



生徒メッセージ

今の英語力と、自分の意外な一面を
肌で感じられたことが最大の収穫です

リアルな英語に触れたいという思いから夏期イギリス研修への参加を決めました。一番印象に残っているのはホストファミリーとの交流です。3歳から大学生までの5人姉妹がいるご家庭で、年齢が上がるにつれて聞き取りにくくなることがわかり、強化すべき点が明確に。現地では初対面の人に進んで話しかけることができ、「自分は人見知りするタイプ」という思い込みを払拭できたことも大きな収穫でした。大学受験に備え、英検準1級に合格することが目下の目標です。



※参加当時、高等部1年

探究能力の育成

計画的・継続的な一貫カリキュラムのもと、
自律力・人間力・社会力・国際力・創造力の5つからなる「考動力」を育成します。

中 等 部

■ すべての学びのベースとなる思考力の育成と課題解決型学習を実践

思考スキルの育成に特化した授業「考える科」では、ディスカッションやプレゼンテーションを繰り返すことで表現力を磨き、最終的には自己分析する力（メタ認知能力）を身につけることを目指します。並行して総合的な学習の時間には、課題解決型学習を展開。フィールドワークや宿泊研修を通して地域や産業、自分自身の未来について考えます。



1年

2年

3年

総合学習	MACHI Project 高槻フィールドワーク 「高槻市を知ること」を目的とした調べ学習の後、都市交流・地歴・自然・福祉の4系列に分かれ、「高槻を知り、高槻に関わり、高槻の人とつながる」プロジェクトを展開。現在の高槻の姿を踏まえ、高槻の未来を考えます。  高槻垣の製作【自然系列】	MIRAI Project 奈良フィールドワーク 日置川宿泊研修 1次産業（農林水産業）、2次産業（製造業）、3次産業（商業・サービス業）について学び、6次産業化（1次産業と2・3次産業との総合的な推進を図り新たな付加価値を生み出す取り組み）を意識しながら、地域の未来を考えます。  日置川宿泊研修	MICHI Project 京都フィールドワーク カナダ研修旅行 テーマは「高槻、地域、世界の人とつながり、自分のあり方を考える」。3系列に分かれて活動し、日本人のアイデンティティについて考えた上でカナダ研修旅行へ。歩んできた道、今歩いている道、歩んでいく道について考えます。  カナダ研修旅行
	- コミュニケーション学習 - 公開ディスカッション - プレゼンテーション - 調べるミッション	- 伝える力 - 上手なインタビュー - ストレスマネジメント - ディベート大会	- パラグラフライティング - 図を見て考えよう - 対話型論証で考える - いのちの学習
多面的思考 評価 比較分類 批判的思考 構造化 論理的思考 創造的思考 メタ認知			

総合学習

考える科

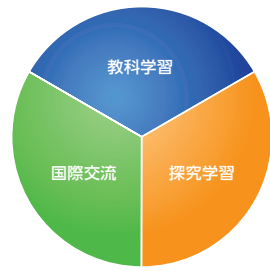
高 等 部

■ 多面的な物の見方を体得し、国際社会で通用する広い視野を養う

国際理解教育を融合させ、多様な価値観に触れながら、課題の発見・解決に挑みます。まずはSDGsをテーマとした国内外の社会課題に触れ、高等部1年の6月にゼミを選択。グループ研究やフィールドワークを経て、高等部2年から個人研究に取り組みます。ゼミの講師を、関西大学の教員が中心となって務めることが大きな特徴。論文のテーマ設定から完成まで、各分野の専門知識に基づいた助言・指導を受けられます。論文執筆の過程においては問いの設定を重視。研究を進める中で得た気づきや発見を通して問いを深化させ、各自のテーマをより深く掘り下げしていきます。



3つの学びの一体化



1年

2年

3年

プロジェクト学習

プロジェクト基礎

プロジェクト研修
SDGsフォーラム
ポスター発表会
各種フィールドワーク

プロジェクトゼミ

卒業論文執筆
ポスター発表会
タイ研修旅行

卒業研究

卒業研究発表会
社会貢献企画

自分の興味に沿って10のゼミから1つに所属

系列	社会	人間	自然	安全
ゼミ	・経済産業・政治・地域創生	・国際協力・教育・文化歴史	・都市環境・自然環境	・危機管理・災害事故

自らの興味・関心に応じて分かれたゼミにおいて、グループ学習やディベート、プレゼンテーション、フィールドワークなどを行い、身近な課題をテーマとして探究していきます。

SDGs フォーラム

興味・関心に基づいてテーマを設定し、課題の背景や社会との関わりを深く考察し、関西大学の教員からの助言を受けながら、論理的に自分なりの答えを創り出します。

ポスター発表会

研究の集大成として、約7,000字の卒業論文を完成し、その概要を大学の教員や専門家が参加する卒業研究発表会においてプレゼンテーションを行います。

卒業研究発表会

充実したICT環境

キャンパス全域に充実した無線LAN環境を整備し、多様なICT機器を導入しています。

取り組み

キャンパス全域に充実した無線LAN環境を整備の上、思考や理解を深めるツールとして、また次代に活躍するための素養を育むツールとして、多様なICT機器を導入しています。授業はもちろん、行事や部活動も含めたあらゆる場面で日常的に活用。すぐにオンライン授業に切り替えられる体制を整えており、いつでもどこでも学習が可能です。

中等部

高等部

文房具としてのICT機器

ICT機器はもはや文房具のように当たり前を使うものであると捉えています。情報の収集・記録・共有・発信をはじめ、コミュニケーションツールとしての活用、プレゼンテーションの作成、日々の課題の提出、そして生徒会が主体となって推進しているメディアリテラシー教育など、自主的な学習に必要な不可欠なツールとなっています。また、生徒の学びを止めないため、急な休校などの際も、すぐにオンライン授業に対応できる体制を整えています。

伝える力をカタチにするICT活用

授業や行事での発表準備にICTを活用し、効率的に資料作成や練習ができます。例えば、プレゼンテーションソフトを使ってスライドを作成し、視覚的に情報を伝えることができます。また、動画編集ソフトを使って発表用の動画を制作することも可能です。これにより、生徒たちは自分のアイデアを効果的に伝えるスキルを身につけることができます。これらの活動を通じて、ICT機器を扱うスキルを向上させていきます。



無線LAN(Wi-Fi)環境の整備

キャンパス全域に充実した無線LAN(Wi-Fi)環境が整備されています。また、扱う情報の大容量化に対応するため、定期的に設備の更新を行っています。これにより、学年の生徒全員が同時に教室内外でインターネットにアクセスし、活動することができます。さらに、ネットワーク専門エンジニアが常駐し、セキュリティ対策にも力を入れており、安全にインターネットを利用することができます。

生成AIの活用とリテラシー教育

今後利活用が必須となる生成AIについて、生成AIの活用・リテラシー教育に取り組んでいます。生成AIを効果的に活用するスキルとともに、利用にあたっての注意点や倫理的な課題、情報の正確性にも配慮しながら、AIリテラシーを身につけていきます。

中等部生・高等部生の一日

充実した教育環境を最大限に活かし、生き生きと学校生活を送る生徒たち。活気と笑顔に満ちた日々が、ここにあります。

中等部

高等部



登校 ～8:25

JR高槻駅からは徒歩約7分、阪急高槻市駅からは徒歩約10分で到着します。2つの駅からアクセスでき、通学しやすい場所にあります。



1限目 8:30～

特別教室を含むすべての教室にICT機器を完備しています。視聴覚情報の活用や意見の共有など、幅広く活用しています。



3限目 10:30～

体育の授業はグラウンドや北館のアリーナ、室内温水プールなどで行います。いずれも手入れが行き届いており、気持ちよく授業に臨めます。



土曜日は3限で終了
(一部クラスは4限まで)



昼休み 12:20～

中等部の給食は、栄養バランスと季節感を大切に献立となっています。クラスの仲間と協力し合う配膳のひとつときも、楽しみの一つです。



5限目 13:10～

多くの授業でグループワークを行っています。ディスカッションを通して多角的な視点を養い、思考や理解を深めます。



放課後 15:00～ または 16:00～

先輩・後輩との交流を通じて、視野を広げられる部活動がたくさんあります。中等部と高等部が一緒に活動するクラブも多くあります。



校時表

登校	～ 8:25
1限	8:30～ 9:20
2限	9:30～ 10:20
3限	10:30～ 11:20
4限	11:30～ 12:20
昼休み	12:20～ 13:10
5限	13:10～ 14:00
6限	14:10～ 15:00
7限	15:10～ 16:00
完全下校(一般)	月～金 18:00 土 14:30
完全下校(部活動)	月～金 18:00 土 16:30

生徒メッセージ

授業を大切にすることで 内部進学に向けた勉強と バスケットボールを両立

バスケットボール部に所属。レギュラー入りを目指して練習に励んでいます。帰宅後は疲れていて予習・復習ができないので、授業に集中。「扱った範囲は授業中に覚えてしまおう」というくらいの気持ちで臨んだ結果、評定が大幅にアップしました。自分なりの勉強法を見つけたのは、高等部からの入学生との出会いがあったからこそ。すぐに仲良くなり、視野が広がったことで、多様性を受け入れつつ自分の芯を持ち、より主体的に行動できるようになりました。

高等部3年
中村 瑛祐さん
関西大学初等部、
関西大学中等部出身



高等部のランチは教室やレストランで。13階の光あふれる空間は、ランチはもちろん、読書や憩いのひとときにもぴったりの人気スポットです。

部活動 Club Activities

人間的成長の場として、
多彩な部・同好会が活動しています。



※アイススケート部は総合情報学部がある高槻キャンパスの関西大学たつきアイスアリーナを利用します。



生徒会活動



行事の企画・運営から他校との交流まで幅広く活動

任期は10月から翌年9月。全学年の生徒が立候補可能で、選挙を経て選出された総勢19名で構成されています。メインイベントは9月の文化祭(葦葉祭)ですが、2月・3月の卒業生を送る会や5月の体育祭でも企画・運営を担当。並行して、生徒会内に設置された各種委員会の活動にも携わります。募金や防災関連のほか、関西大学の三つの併設校との交流を企画・推進したり、生徒の要望に応じて制服に関するルールの改定を学校に提案したりと、活動内容は実に多彩。探究活動を通して身につけた「考動力」を発揮できる、絶好の機会の一つとなっています。

[中等部] 生徒会長 3年 西村 紗良さん 関西大学初等部出身

[高等部] 生徒会長 3年 塩田 みのりさん 高槻市立北清水小学校、関西大学中等部出身

制服 Uniform

関西大学中等部・高等部生としての「品位と誇り」をテーマに、
上質な素材を用い、デザイン性を追求しました。
ジャケットのステッチ使いが人気。シャツやベストなどオプションも豊富です。

中等部

夏服



冬服



スラックス



高等部

夏服



冬服



スラックス



option&bag



ステッチを
きかせた
ジャケットが人気



オプション



好みに合わせて
メッシュと
合皮タイプから
自由に選択

Annual Events

「考動力」や、
思いやりの心を育む機会として、
1年を通して多彩な行事を実施しています。



4月

琵琶湖宿泊研修[1年]



5月

体育祭



9月

文化祭(葦葉祭)



10月

カナダ研修旅行[3年]



11月

日置川宿泊研修[2年]



1月

百人一首大会[1年]



2月

総合学習発表会



3月

遠足

中等部

- 入学式
- 前期始業式・対面式・生徒総会
- 入学者オリエンテーション
- 琵琶湖宿泊研修[1年]
- 体育祭
- 千里山フィールドワーク[1年]
- 奈良フィールドワーク[2年]
- 京都フィールドワーク[3年]
- 前期中間考査

- 短期交換留学生受入(台湾)[2年]
- ICT研修
- TOEFL Primary / Junior [1・2年希望者]

- 文化祭(葦葉祭)
- 前期末考査

- 前期終業式・生徒総会
- 後期始業式・生徒会役員認証式
- カナダ研修旅行[3年]

- オースタムセミナー
- 日置川宿泊研修[2年]
- 芸術体験[1年]
- 関大防災Day
- 後期中間考査

- TOEFL Primary / Junior [1・2年希望者]
- 吹奏楽部クリスマスコンサート
- 人権教育講演会

- 百人一首大会[1年]
- ターム留学(ニュージーランド)[3年希望者](3月末帰国)

- 総合学習発表会
- 学年末考査

- スポーツ大会
- 遠足
- 卒業式
- 修了式・生徒総会
- 短期交換留学(台湾)[2年希望者]

前期

4

April

5

May

6

June

7

July

8

August

9

September

後期

10

October

11

November

12

December

1

January

2

February

3

March

高等部

- 入学式
- 前期始業式・対面式・生徒総会
- 高岳館宿泊研修[1年]
- 体育祭
- 遠足
- 関西大学卒業見込者入試説明会[3年]
- 日韓交流プログラム受入[1・2年希望者]
- 卒業研究発表予選会[2・3年]
- SDGsフォーラム[1年]
- 前期中間考査
- 卒業研究発表本選会
- 関西大学国際部講演会[1年]

- 関西大学学部説明会
- 国公立大学入試説明会[2・3年]
- ICT研修
- 短期交換留学生受入(台湾)[1年]
- 夏期イギリス研修[1・2年希望者]

- 第1回関西大学独自テスト[3年]
- 文化祭(葦葉祭)
- 前期末考査

- 前期終業式・生徒総会
- 後期始業式・生徒会役員認証式

- 第2回関西大学独自テスト[3年]
- ポスター発表会[1・2年]
- オースタムセミナー
- プロジェクト基礎FW[1年]
- 卒業考査[3年]
- 後期中間考査[1・2年]
- 短期交換留学生受入(シンガポール)[2年]
- 関大防災Day

- 吹奏楽部クリスマスコンサート
- 人権教育講演会
- 日韓交流プログラム韓国訪問[1・2年希望者]

- 関西大学卒業見込者入試合格発表[3年]
- 関西大学入学前教育[3年]
- 国公立対策講座[3年]
- タイ研修旅行[2年]

- 卒業式
- 学年末考査[1・2年]

- 修了式・生徒総会
- 短期交換留学(台湾)[1年希望者]
- 短期交換留学(シンガポール)[2年希望者]



4月

高岳館(関西大学高槻キャンパス)宿泊研修[1年]



5月

体育祭



5月

遠足



6月

卒業研究発表本選会



9月

文化祭(葦葉祭)



1月

タイ研修旅行[2年]



2月

高等部卒業式



3月

短期交換留学(シンガポール)[2年希望者]



東 館



東館前

グラウンド

安全性の高い美しい人工芝グラウンド。体育の授業で使われるほか、放課後にはサッカー部・ラグビー部が使用します。

R

屋上庭園

13

高等部普通教室
コンピュータ教室 中講義室
物理教室 化学実験室

12

高等部普通教室 マルチメディア教室
地学・安全科学教室 生物教室

11

高等部普通教室
高等部英語教室1・2
被服室 調理室

10

中部部・高等部ライブラリー
美術室 焼窯室 自習室

9

中部部・高等部校長室 職員室 事務室
放送室 進路指導室 保健室
カウンセリングルーム 相談室1・2

8

中部部普通教室 音楽教室1・2
練習ブース1〜4

7

中部部普通教室
中部部英語教室1・2
多目的ルーム 大会議室

6

中部部普通教室 選択教室
生徒会室 技術教室 小会議室

5

理科実験室 図工教室
マルチメディアルーム 茶室「高妙軒」
家庭科教室 児童会室 教材作成室

4

初等部普通教室 音楽教室
練習ブース1〜4 放送室

3

初等部普通教室
初等部ライブラリー（はてな館・わくわく館）

2

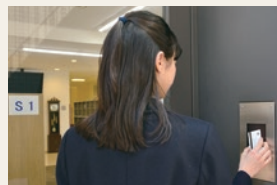
初等部普通教室 初等部英語教室
会議室 【初等部エントランス】

1

初等部校長室 職員室 事務室
多目的室 保健室 相談室 ゲストルーム
【中部部・高等部エントランス】

ICカードによりセキュリティは万全

西門・北門の両方に常時、警備員を配置しています。東館入口はオートロック式で、入れるのはICカードを持つ生徒と教職員のみ。安心して学校生活を送れます。



＼ 学習意欲が自然と高まる、スタイリッシュな空間。／



10F

中部部・高等部ライブラリー

授業のグループワークや自習などに使えるスペースを備えています。



10F

自習室

落ち着いて勉強に取り組むことができる自習室。広々とした机が設置されています。



6-8F, 11-13F

普通教室

大型ディスプレイと無線LANを整備。iPadやMacBookなどを活用して授業を展開しています。

北 館

4

アリーナ

3

室内温水プール

2

武道場

1

レストラン 購買店



3F

室内温水プール

年間を通して使える室内温水プールを完備。災害時にはプールの水を浄化して、生活用水として確保することができます。



4F

アリーナ

入学式・卒業式といった式典はもちろん、体育の授業や文化祭などでも活用します。



1F

レストラン・購買店

ランチタイムや放課後に使用可能。コンビニエンスストアや自動販売機もあるので便利です。



2F

武道場

体育の授業で使用します、放課後には日本拳法部の練習場となります。



6-8F, 11F

オープンスペース

ICT機器で調べものをしたり、グループで話し合ったりと、気軽に幅広く使える空間です。



13F

コンピュータ教室

中学の技術や高校の情報などの授業で使用し、デスクトップパソコンで学ぶことができます。



東館

エレベーターホール

全6基のエレベーターを完備し、ホールも広々としているので、快適に利用できます。



12F

生物教室

生物教室の机は、自然と中央に視線が集まるように計算された角度で配置されています。



12F

マルチメディア教室

情報機器を完備したマルチメディア教室は、用途に応じて机や椅子を自由にレイアウトすることが可能。グループワークにも最適です。

「Kandai Vision 150」

教育の将来像

テーマ

**変化を続ける社会に、
関西大学はいかなる人材を送り出すべきか。**

20年後の日本では、異文化と向き合い、それを理解・尊重しながら共存することが求められることになる。関西大学は、そうしたグローバルな社会を生き抜くために、「考動力」と「革新力」を備えた人材の育成をめざす。

生き抜く力を養うためには、夢を持ち、その夢を現実につなげようとする、しなやかな、しかし、したたかな意志が必要となる。また、他者への理解と配慮も忘れてはならず、自らの責務を果たしつつ、他者に対して公平に接するとともに、公正な判断が行えなければならない。そのためには、幅広い教養と高い専門性を修得し、人格の陶冶を図るといった本来の教育目標に加え、予測不可能な社会の中で困難を克服することのできる「考動力」と、新たな価値を創造し、多様性を生み出すことのできる「革新力」を身につけさせることが肝要になる。

本学園では、このような「考動力」と「革新力」を養成する教育を展開するため、単なる知識の教授に留まることなく、国際交流や地域交流を通じて多様な価値観の中に身を置き、主体的・協働的に学修する教育プログラムをこれまで以上に整備し、学理と実際のとの更なる調和を図る。併せて、自らが依って立つ国や地域の歴史と文化に対する理解を土台に、俯瞰的な視野の確立を促す教育プログラムを充実させ、国籍や年齢を超え、本学園に集う全ての人たちに広く提供する。

生き抜く力を育む教育の実践に向け、われわれ教職員は目的を共有し、総力を結集して取り組まなければならない。高度な知識や専門的なスキルを有する教職員が緊密に連携することで、大学・大学院・併設校の各教育方針・教育目標の下、個性ある学生・生徒等の育成に全力を投入できる体制を構築する。

中等部

中大連携教育

関西大学併設校としての
メリットを
最大限に活かした
中大連携教育

千里山フィールドワーク



進路に対する意識を高めること、進路選択におけるミスマッチをなくすことを目的に大学と連携した活動も展開しています。中等部1年では「千里山フィールドワーク」を実施。学生が案内役を務めるキャンパスツアーではスケールの大きさを肌で感じ、「ここで学びたい」という気持ちが高まりと共に、関西大学の一員としての誇りと自覚を育みます。また、意欲のある中等部生には、高等部生対象の「高大連携プログラム」への参加を認めています。このプログラムに参加することでミニ講義の受講や、研究室で専用の器具を用いたハイレベルな実験に触れることができます。このような取り組みを通じて大学での学びへと繋げていきます。

高等部

高大連携教育

大学や本校の
キャンパスにおいて
多彩な高大連携
プログラムを実施

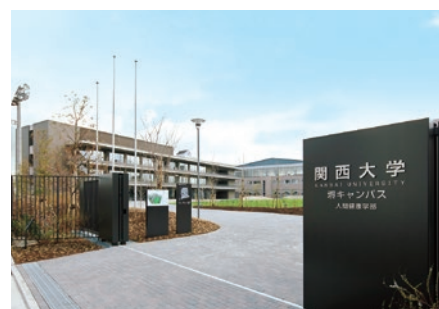
併設校対象学部説明会



進路を切り拓く取り組みの一環として、関西大学との「高大連携プログラム」を実施しています。三つの併設校対象のものとしては、「併設校対象関西大学説明会」や「併設校対象学部説明会」、理工系3学部の研究室で教員や学生と協働する課題提案型探究プログラムなどがあります。また、本校独自のものとしては、生徒が大学の研究室を訪問する「研究室フィールドワーク」や関西大学の教員が講師を務めるゼミ活動など探究学習に関わる取り組みを実施。さらに、行事や部活動における大学との連携は、学ぶ意欲につながる「憧れ」や、将来に活きる「真摯に取り組む姿勢」を育てることにつながっています。



千里山キャンパス



堺キャンパス



高槻キャンパス



吹田みらいキャンパス

新たな学びのフィールド「吹田みらいキャンパス」が誕生。多様な人が集い学び合う活気に溢れる環境を創出します。



高槻ミュージックキャンパス



梅田キャンパス

在校生インタビュー



中部部2年
田邊 璃空さん
豊中市立新田小学校出身

— この学校の受験を決めたのは、小学校6年の夏だったそうですね。

受験勉強を始めたのは塾に通い始めた小学校3年の3月頃ですが、志望校をなかなか決められずにいました。「この学校に通いたい」と思うきっかけになったのはオープンスクール。先輩方が優しく接してくださること、関西大学への内部進学制度があること、中部部3年でカナダ研修旅行に行けることに強く惹かれて、受験することを決めました。

— 受験勉強はどのように進めましたか？

コツコツ積み重ねることを大切にしていました。苦手教科は国語と社会。国語は、地道に文章題に取り組んできたことがよかったと感じています。社会は、週1回の小テストを活用。毎回、テスト範囲の暗記を頑張っていたら、徐々に知識が定着して、成績が伸びていきました。教科に関わらず意識していたことは、解答をきれいな字で書くことです。特に入試本番では丁寧さを心がけました。受験勉強を振り返ってあらためて感じているのは、勉強する時間と好きなことを楽しむ時間のメリハリをつけることの大切さ。僕はゲームが好きで、休憩時間は長くなりがちでしたが(笑)、勉強一色ではなく適度に息抜きを入れながら、集中して取り組むのがよいかなと思います。

— 今は勉強と部活動、両方を頑張っていると聞きました。

男子バスケットボール部で活動しながら、中学受験が終わってすぐに習い始めたドラムの練習にも、近々ある発表会に向けて力を入れているところです。勉強の目標は、成績で学年10位以内に入ること。中部部1年の時は惜しくも逃しましたが、勉強と好きなことを両立して今年こそ達成したいです。定期考査の平均点をもう5点アップできれば可能性が見えてくるので、授業を集中して聞き、課題にしっかりと取り組み、小テストは満点を目指して臨んでいます。

— この学校を志望した理由を教えてください。

受験校を決めたのは中学校3年の11月頃。海外研修プログラムが豊富にある、得意な英語を伸ばせる環境と、施設・設備が整っていること、先生と生徒の距離が近い少人数制であることが決め手になりました。

— 受験勉強を本格的に始めたのはいつですか？

中学校3年の4月です。英語は得意といっても、自信があるのはリスニングとスピーキング。受験に向けてライティングと、苦手意識のあるリーディングの強化を図りました。苦手な社会は、自分に合った問題集を探すところからスタート。全範囲がシンプルにまとまった取り組みやすい問題集を見つけ、その1冊を何周も繰り返すことで基礎を定着させていきました。過去問は約10年分を用意。傾向をつかみ、問題に慣れることが大事だと考えたからです。12月からは週に1年分のペースで解いていきました。英語の長文は、日本語に訳したり、下線部の理由を日本語で述べたりと、想像以上に記述が多くて驚いたことを覚えています。過去問を通してそうした問題への対応力を鍛えたことが、得点につながったと感じています。

— 国公立大学の獣医学部が第一志望だとうかがいました。

高等部1年の時、病気になった愛犬に何もできなかったという心残りがきっかけです。それまでは得意な英語を活かして外国語学部に進もうと考えていましたが、「苦しむ動物たちを助けたい」という思いが強くなっていきました。現在は大学入学共通テストを見据え、中学時代に克服しきれなかったもう一つの苦手教科、国語の強化に力を注ぎながら、英検準1級合格を目指して勉強中。獣医になるという夢の実現に向けて頑張ります。



高等部2年
高田 優香子さん
神戸市立鷗合中学校出身

卒業生の声



Arches 株式会社 勤務

水野 菜月さん
関西大学高等部 2017年3月卒業
島本町立第四小学校、関西大学中部部出身

THINK × ACTの先に行きついたベトナム移住 自分の人生を生きるために、考え、行動を続けられる人に

関西大学を卒業後、自分で裁量を持って仕事ができる環境を求めて大手IT企業に入社。現在は次なる挑戦としてベトナムに移住し、「事業と人の両方を伸ばせるマネージャー」を目指してグローバルスタートアップで働いています。私にとって中部部・高等部での学校生活は、「将来どんな自分になりたいか」「そのために今、どんな力を身につけるべきか」といった問いを立て、これからの人生について考えながら行動できた時間でした。日常のことはもちろん、将来についても相談できる温かな先生方の存在が、今の私の人生の選択や生き方に大きくつながっていると感じます。また、「考える力」を養う授業スタイルにおける「問いを見つける」「問いに対して自分の意見を発表する」というプロセスを通じて、自分の頭で考え抜く力が自然と身につけていきました。バスケットボール部での活動も印象に残っています。「シュートが入る気がしない」と漏らした私にコーチが言った、「そう思っているなら入らないかもね」という言葉が、どのような状況でも「自分はできる」と信じることの大切さに気づかせてくれました。そこから自分を信じて努力を続けた経験が、今、仕事で困難に直面した時の支えになっています。生徒の皆さんにも、「この時の経験があったからこそ、今がある」と思えるような、濃密で楽しい学生生活を送ってほしいと思います。

中部部からお世話になった母校への恩返しとして 関西大学の学生たちをサポートしていきたい

2013年に関西大学中部部へ入学。高等部では3年間学級委員を務め、関西大学では応援団に所属していました。現在は専任事務職員として関西大学に勤務しています。私が考える中部部・高等部の強みは、「質の高い教育」と「生徒の主体性を育む教育体制」にあります。生徒の考動力を育むために多様なプロジェクト活動が用意されていますが、中でも特に印象に残っているのが、高大連携によるゼミ活動です。関心のあるテーマについて大学教員と個別面談を行いながら知見を深められる、大変貴重な経験でした。文化祭(葦葉祭)や体育祭では中部部・高等部の枠を超えて全校生徒が一丸となり、一つの目標に向かって協力し合ったことを覚えています。先生方は生徒の主体性を尊重しつつ、的確なサポートと温かいアドバイスをくださるため、安心して挑戦できます。私は高等部の体育祭でも応援団を務めましたが、仲間とともに団をまとめて一つの舞台を作り上げた経験は、今でも大切な思い出です。現在、私が関西大学の一員として働くことができるのは、中部部・高等部時代に得た経験と先生方のご指導があったからです。生徒一人ひとりの個性を尊重し、その可能性を最大限に引き出してくれる教育環境が、ここにはあります。生徒の皆さんにはぜひ、この恵まれた環境の中でさまざまなことに挑戦していただきたいと思います。これまで育てていただいた感謝の気持ちを胸に、今度は私自身が、関西大学の一員として皆さんの学生生活を支えていきます。



関西大学 国際プラザグループ 勤務

油田 和樹さん
関西大学高等部 2019年3月卒業
茨木市立玉櫛小学校、関西大学中部部出身

募集人員

第1学年 共学
【前期】[4教科・3教科型] 約60名 [英検加点点型] 5～10名 【後期】[2教科型] 5～10名

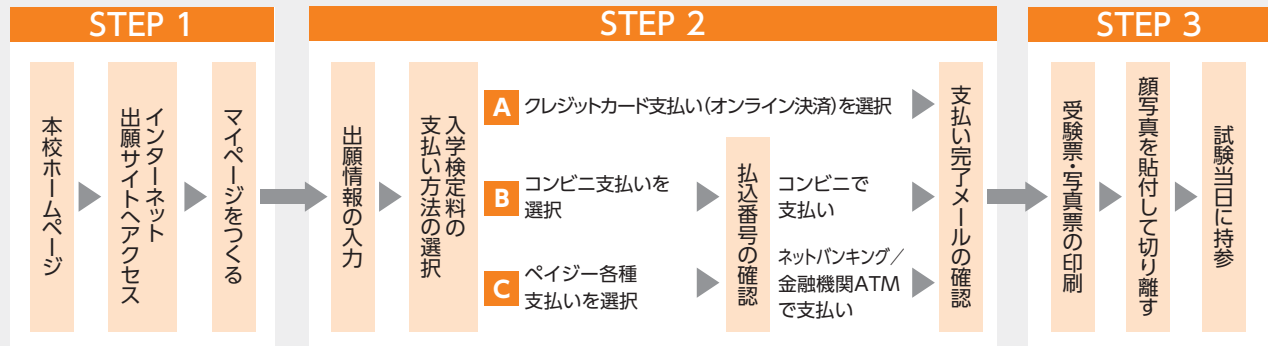
出願資格

2026年3月小学校卒業見込者

出願受付・検定料納入期間

【前期・後期共通】インターネット出願受付 2025年12月15日(月)～2026年1月13日(火) 15:00
※検定料が納入(クレジットカード決済・コンビニ支払・ペイジー各種支払)された時点で出願手続きは完了します。

■インターネット出願の流れ



※Amazon Pay・PayPay／au PAYは利用可能になる予定です。

入学検定料

【前期・後期共通】20,000円

入学試験日

【前期】2026年1月17日(土) 筆記試験 【後期】2026年1月18日(日) 筆記試験
※追試験は実施しません。

試験教科

前期・後期とも、試験時間は各教科45分
※前期・後期とも入学者数を推定するため、試験終了後に受験校調査を実施します。また任意で通塾名の記入をお願いしています。ご了承ください。

【前期】	[4教科・3教科型]と[英検加点点型]の同時受験はできません。
[4教科・3教科型] 出願時に以下の①、②のいずれかを選択して受験する。 ① 4教科(国語・算数・理科・社会 各教科100点満点)を受験し、 ・4教科(国語・算数・理科・社会)の合計点(400点満点) ・3教科(国語・算数・理科)の合計点×4／3(400点満点換算) ・3教科(国語・算数・社会)の合計点×4／3(400点満点換算) 上記のうち、最高得点のものを受験生の得点とする。 ② 3教科(国語・算数・理科 各教科100点満点)を受験し、 3教科の合計点×4／3(400点満点換算)したものを受験生の得点とする。 ①および②を一括して合否判定を行う。 ※終了時刻は4教科型 12:50、3教科型 11:45を予定しています。	[英検加点点型] 2教科(国語・算数 各教科100点満点)を受験し、2教科の合計点×1/2(100点満点換算)と、英検加点点(50点満点)の合計(150点満点)で合否判定を行う。 <英検取得級による加点点> 準1級以上 50点、2級 45点、準2級プラス40点、準2級 35点、3級 20点 ※加点点対象者は3級以上です。 ※取得有効期間は小学4年生～6年生とし、合格証明書に記載された資格認定日が2023年4月1日～2025年12月31日のものを有効とします。 (小6時の11月受験分は、合格証明書が出願に間に合わない可能性があります。) ※終了時刻は10:40を予定しています。
【後期】	[2教科型] 2教科(国語・算数 各教科100点満点)の合計(200点満点)で合否判定を行う。 ※終了時刻は11:20を予定しています。

生徒募集概要について 2025年4月時点での予定を掲載しているため、入試手続きに関するスケジュールや入試形態について、変更が生じる可能性があります。入学試験に関する詳細は、ホームページに入学試験要項を掲載しますので、必ずご確認ください。(2025年9月掲載予定)

合格発表

【前期】2026年1月19日(月) 15:00 インターネットにて発表
【後期】2026年1月20日(火) 12:00 インターネットにて発表
なお、合格者には、合格通知書並びに入学手続きに関する書類を郵送します。
※合否に関する問い合わせは一切お受けできません。

入学金納入期間

【前期】2026年1月21日(水)～1月23日(金) 13:00
【後期】2026年1月22日(木)～1月26日(月) 13:00

入学手続きに必要な費用

入学金(入学登録金) 300,000円
※入学金の納入は、銀行窓口による振込に限ります。

制服採寸・入学予定者説明会 ※保護者同伴

制服採寸 2026年 1月31日(土) 午後(予定)
入学予定者説明会 2026年 2月28日(土) 午後(予定)

学費・諸費 (2025年度実績 2026年度は未定)

種別		区分				計
		第1期 4月	第2期 7月	第3期 10月	第4期 1月	
学 費	授業料	173,500	175,500	175,500	175,500	700,000
	施設費	51,500	49,500	49,500	49,500	200,000
諸 費	生徒会費	1,000	—	—	—	1,000
	学年諸費	42,000	34,000	20,000	—	96,000
	給食費	41,000	34,000	29,000	—	104,000
	教育後援会会費	5,000	5,000	5,000	—	15,000
合 計		314,000	298,000	279,000	225,000	1,116,000

※その他費用 制服(約62,000円) 制成品(約62,000円) 中3の海外研修旅行費(カナダ) 個人情報端末費(タブレット等)

昨年度(2025年度)の入試状況

1 受験者数・合格者数

	前期[4教科・3教科型]			前期[英検加点点型]			後期[2教科型]		
	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体
受験者数	47	61	108	5	5	10	126	111	237
合格者数	24	36	60	2	4	6	39	28	67
実質競争率	1.96	1.69	1.80	2.50	1.25	1.67	3.23	3.96	3.54

2 教科別平均点 (受験者全体)

	前期[4教科・3教科型]			前期[英検加点点型]			後期[2教科型]		
	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体
国 語	71.0	72.1	71.6	67.2	72.2	69.7	73.0	77.7	75.2
算 数	51.6	56.0	54.1	47.6	52.6	50.1	56.7	52.5	54.8
理 科	56.3	56.4	56.3						
社 会	60.6	58.4	59.4						
英 検				39.0	39.0	39.0			
合 計	239.9	247.2	244.1	96.6	101.6	99.1	129.7	130.3	130.0

3 合格最低点

	前期[4教科・3教科型]	前期[英検加点点型]	後期[2教科型]
	全体	全体	全体
得 点	245/400	98/150	146/200

募集人員

全日制課程 普通科 第1学年 共学 約50名 【専願・併願】

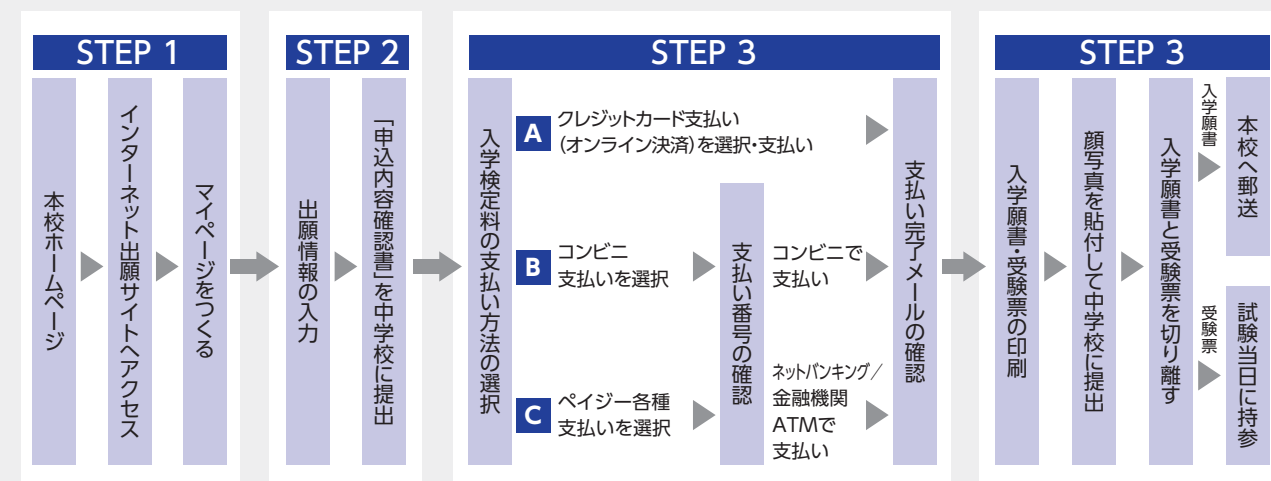
出願資格

2026年3月中学校卒業見込者及び中学校卒業後1年以内の者
(2009年4月2日～2011年4月1日の間に出生した者)

出願情報登録期間

2025年12月15日(月) 9:00 ～ 2026年1月27日(火) 15:00

■インターネット出願の流れ



※Amazon Pay・PayPay／au PAYは利用可能になる予定です。

出願受付・出願書類

出願書類受付 2026年1月20日(火)～1月27日(火) 簡易書留速達(1月27日の消印有効)

- 入学願書(本校所定の用紙)
※インターネット出願システムより出力の上、顔写真(3ヵ月以内に撮影した上半身・正面・脱帽〔縦4.0cm×横3.0cm〕のもの)を貼付。その後在籍中学校に提出し、在籍中学校にて校長印を押印。
- 個人報告書
- 英検合格証明書の写し(英検の資格取得状況提出を希望する場合のみ)

入学検定料・検定料納入期間

20,000円 納入期間:2026年1月13日(火)～1月27日(火)15:00

入学試験日・試験教科

2026年2月10日(火) 筆記試験 5教科(国語・数学・英語・社会・理科) 試験時間は各教科50分
※5教科(各教科100点満点、計500点満点)の合計点に、英検において、2級以上取得者に対し15点、準2級プラス取得者に対し10点、準2級取得者に対し5点を加点し判定します。
※追試験は実施しません。

合格発表

2026年2月11日(水) 速達郵便で発送
※可否に関する問い合わせは一切お受けできません。

入学金納入期間

【専願】2026年2月13日(金)～2月17日(火) 13:00
【併願】2026年2月13日(金)～3月19日(木) 13:00

入学手続きに必要な費用

入学金(入学登録金) 300,000円
※入学金の納入は、銀行窓口による振込に限ります。

合格者登校日 ※保護者同伴

合格者登校日・制服採寸(専願合格者のみ) 2026年 2月21日(土) 午後(予定)
入学予定者登校日・制服採寸(専願・併願合格者) 2026年 3月21日(土) 午前(予定)
※入学手続き期間(併願)の最終日および入学予定者登校日は、変更の可能性があります。

学費・諸費 (2025年度実績 2026年度は未定)

(単位:円)

種別		区分	第1期	第2期	第3期	第4期	計
		4月	7月	10月	1月		
学 費	授業料		173,500	175,500	175,500	175,500	700,000
	施設費		51,500	49,500	49,500	49,500	200,000
諸 費	生徒会費		1,000	—	—	—	1,000
	学年諸費		37,000	25,000	20,000	—	82,000
	教育後援会会費		5,000	5,000	5,000	—	15,000
合 計			268,000	255,000	250,000	225,000	998,000

※その他費用 制服(約62,000円) 制定品(約62,000円) 教科書・副読本(約28,000円)
高2の海外研修旅行費(タイ) 個人情報端末費(ノートパソコン等)

昨年度(2025年度)の入試状況

1 受験者数・合格者数

		男子	女子	全体
受験者数	専願	46	32	78
	併願	9	8	17
合格者数	専願	24	25	49
	併願	7	7	14
合格最低点	専願	329/515		
	併願	359/515		
実質競争率	専願	1.92	1.28	1.59
	併願	1.29	1.14	1.21

※専願追試験者1名を含まない

2 教科別平均点(受験者全体)

	男子	女子	全体
国 語	50.9	58.2	53.9
数 学	63.3	60.1	62.0
英 語	49.7	55.7	52.2
社 会	58.1	57.6	57.8
理 科	63.8	60.3	62.3
英 検	7.3	9.3	8.1
総 合	293.0	301.0	296.3

※2025年度の総合は、5教科(各教科100点満点、計500点満点)の合計点に、英検で2級以上の取得者に対し15点、準2級の取得者に対し10点を加点した515点満点。

中等部・高等部入試 出題のねらいと入試に向けての学習アドバイス

2026年度入試に関する詳しい内容は、
11月15日(土)に行われる入試説明会でお知らせします。

中等部

	出題のねらいと構成	入試に向けての学習アドバイス、注意点
国語	説明文では作者の主張やその根拠を正確に読み取ること、物語文では場面の把握や登場人物の心情などについての確に捉える読解力を問います。また、漢字の読み書きやことわざ、慣用句など言葉の知識についても出題し、国語力を総合的に問うことを目的とします。 大問は3題で、説明文(あるいは随筆文)と物語文、言葉の知識の各1題ずつが出題されます。文章題では、記述問題も出題します。	以下の「キ・ミ・ウ・カ・ル」を実践してください。 キ 基礎・基本をしっかりと 文章読解や言葉の知識においては基礎力が肝要です。 ミ 見直しをしっかりと 普段の演習から、見直しの習慣をつけてください。 ウ うっかりミスをなくす 誤字・脱字は減点の対象です。解答は丁寧に、正確に書くよう心がけてください。 カ 過去問題を解く 本校の過去問題を解き、出題形式に慣れてください。 ル 類題を解く 本校の過去問題以外にも、類題を通して演習を積み重ねてください。
算数	問題は大問5題の構成で、計算問題、関数、図形、規則性などの分野から出題します。これらの問題を通じて、 ① 基本的な計算力が身についているか ② 文章・図を正しく読み取れているか ③ ①と②を結びつけることができているかを測りたいと考えています。	計算問題は「速さと正確さ」を意識して練習してください。また、関数の問題はグラフを正確に読み取る練習をしてください。グラフの読み取りについては、過去問題がよい演習題材になると思います。
理科	小学校3年生から6年生で学ぶ範囲について、基本的な内容を中心に幅広く問います。身近な生き物や自然現象の観察や実験を通して、科学的な考え方ができているかどうかを問います。 大問は6題で、エネルギー、粒子、生命、地球のそれぞれについての基本的・標準的な問題を出題します。	小学校で学ぶすべての内容について、基本的な知識、自然現象についての理解をしておいてください。観察や実験では、「なぜこの手順が必要であるか」といったことも意識しながら学習を進めてください。 また、日頃から身近な自然現象に興味を持って「なぜ」を意識して学習を進めてください。
社会	小学校3年生以降で学習する地理・歴史・公民の3つの分野のうち、地理・歴史を中心としつつ、公民も含む幅広い内容から出題します。小問数はおよそ60を目安とします。 小学校で学習する内容が基本ですが、図や資料から思考力を問う問題も出題します。出題形式は、記号で答える選択肢形式の問題や語句を書く問題だけでなく、短い文で説明する問題を出題することもあります。	① 3つの分野とも、用語の意味や、ことがらの理由や変化の内容などについて答えられるように学習に努めてください。 ② 教科書の本文だけでなく、図や写真・地図とその説明文もしっかり学習しておいてください。 ③ 新聞記事などを通じて、時事問題に触れるようにしてください。 ④ 誤字や脱字は減点の対象になります。また、漢字で解答できる語句は漢字で答えられるようにしておいてください。

高等部

	出題のねらいと構成	入試に向けての学習アドバイス、注意点
国語	評論では言葉の基礎的な知識や作者の主張、その根拠を正確に読み取ること、古文では基礎的な知識、文脈に沿って正確に読み取る力を問います。漢字や言葉の知識、語彙語法などの知識に加え、読解力、表現力を問うことを目的とします。 大問は2題で、評論(あるいは随筆)と古文の各1題ずつが出題されます。各大問では記述問題も出題します。	以下の「キ・ミ・ウ・カ・ル」を実践してください。 キ 基礎・基本をしっかりと 文章読解や言葉の知識においては基礎力が肝要です。 ミ 見直しをしっかりと 普段の演習から、見直しの習慣をつけてください。 ウ うっかりミスをなくす 誤字・脱字は減点の対象です。解答は丁寧に、正確に書くよう心がけてください。 カ 過去問題を解く 本校の過去問題を解き、出題形式に慣れてください。 ル 類題を解く 本校の過去問題以外にも、類題を通して演習を積み重ねてください。
数学	問題は大問5題の構成で、計算問題、関数、図形、規則性などの分野から出題します。これらの問題を通じて、 ① 基本的な計算力が身についているか ② 文章・図を正しく読み取り数学的に処理ができるかを測りたいと考えています。	小問集合では、計算ミスをしないよう、式の展開・因数分解、根号を含む式の計算、確率などの基本問題を反復練習してください。 図形分野や関数分野は、標準的な高校入試対策問題集を用いて色々な問題を繰り返し練習してください。数学では反復練習がとても重要です。
英語	長文読解問題が2題と英作文の問題が1題出題されます。長文の問題はおおよそ600語～750語のかなり長い文章です。難しい単語はほとんどなく、文法事項も中学校の範囲ですので、英文自体はそれほど難しくありません。しかし、分量が多いため、全文和訳するのではなく、速く正確に内容を捉えることが求められます。 また、英作文は和文英訳と課題作文が出題されます。和文英訳では前後の英文を読み、文脈に合う英文を書けることをねらいとしています。直訳ではなく、言おうとすることが伝わるように書くことが大切です。課題作文では指示についてまとまった文章を書く力が問われます。30語程度で自分の考えや理由を述べることが求められます。	① 日頃からやさしめのサイドリーダーを読み、英文に慣れ親しみ、文章を正確に読み取れるように訓練しておいてください。 ② 中学校で学習する文型・文法事項を総復習しておきましょう。また教科書の英文を音読する習慣をつけてください。日頃から自分の意見などを英語で考え、英語で書く習慣を身につけておいてください。英文日記をつけることも課題作文のひとつの対策となるでしょう。
社会	中学校で学習する地理的分野・歴史的分野・公民的分野について、各分野から偏りなく幅広い内容から出題します。小問数はおよそ50です。 教科書の内容からの出題が基本ですが、図や資料から思考力を問う問題も出題します。出題形式は、記号で答える選択肢形式の問題や語句を書く問題だけでなく、論述形式の問題も出題します。	① 3つの分野とも、用語の意味や、ことがらの理由や変化の内容などについて答えられるように学習に努めてください。 ② 教科書の本文だけでなく、図や写真・地図とその説明文もしっかり学習しておいてください。 ③ 新聞記事などを通じて、時事問題に触れるようにしてください。 ④ 誤字や脱字は減点の対象になります。また、漢字で解答できる語句は漢字で答えられるようにしておいてください。
理科	中学校で学ぶ範囲について、標準的な内容を中心に幅広い知識を問います。物理、化学、生物、地学の観察や実験を通して科学的な考え方ができているかどうかを問います。 大問は5題で、4つの分野のそれぞれについて基本的・標準的な問題を出題します。	中学校で学ぶすべての内容について、基本的な知識、自然現象についての理解をしておいてください。観察や実験では、「なぜこの手順が必要であるか」といったことも意識しながら学習を進めてください。 また、日頃から身近な自然現象に興味を持って「なぜ」を意識して学習を進めてください。